

# データ集

## CONTENTS

---

### 財務データ

財務情報(連結)	114
セグメント情報	116
株主・株式情報	117

### 環境データ

2019年度環境活動実績と2020年度目標の設定	118
オカムラグループの事業活動にともなう環境影響のバランス(2019年度)	120
生産事業所・主要関係会社の環境管理データ(2019年度)	121

## 財務情報〈連結〉

(年度)

	2015	2016	2017	2018	2019
<b>損益状況(会計年度)</b>					
売上高 (百万円)	240,794	236,776	241,752	247,925	253,170
売上総利益 (百万円)	73,493	73,998	75,794	78,924	81,748
販売費及び一般管理費 (百万円)	60,532	62,182	62,651	66,506	68,357
営業利益 (百万円)	12,960	11,815	13,142	12,418	13,391
経常利益 (百万円)	13,590	12,761	14,000	13,677	14,712
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	9,067	8,295	10,820	10,234	9,851

<b>財政状況(会計年度末)</b>					
総資産 (百万円)	217,485	218,741	235,765	229,276	236,327
純資産 (百万円)	108,491	114,249	125,585	130,403	135,497

<b>キャッシュ・フロー状況</b>					
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	13,870	11,439	12,059	9,464	14,501
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△6,896	△9,153	△7,665	△5,436	△5,661
フリーキャッシュ・フロー (百万円)	6,974	2,286	4,394	4,028	8,840
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△2,114	△4,184	△3,870	△3,860	△4,388
現金及び現金同等物の期末残高 (百万円)	27,547	25,461	26,122	26,133	31,497
借入金・社債期末残高 (百万円)	24,448	23,490	23,001	22,530	22,140

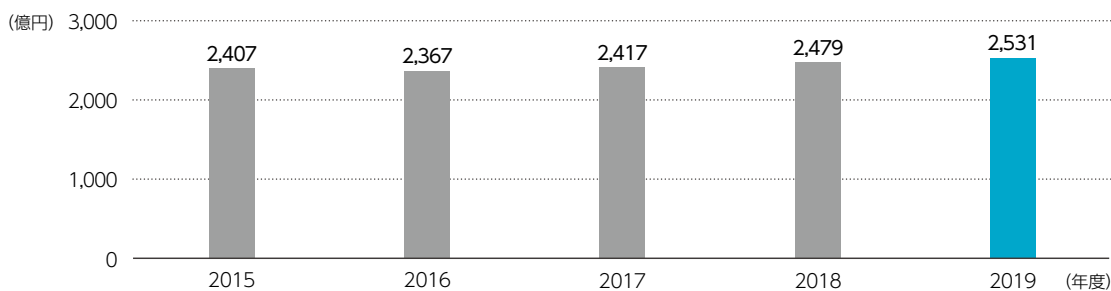
<b>1株当たり情報</b>					
当期純利益 (EPS) (円)	82.31	75.3	98.23	92.92	89.44
純資産 (BPS) (円)	980.32	1,032.06	1,136.82	1,179.63	1,219.18
年間配当金 (円)	24.00	24.00	26.00	28.00	32.00

<b>財務指標</b>					
売上高総利益率 (%)	30.5	31.3	31.4	31.8	32.3
売上高営業利益率 (%)	5.4	5.0	5.4	5.0	5.3
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	8.6	7.5	9.1	8.0	7.5
総資産経常利益率 (ROA) (%)	6.4	5.9	6.2	5.9	6.3
自己資本比率 (%)	49.7	52.0	53.1	56.7	56.8

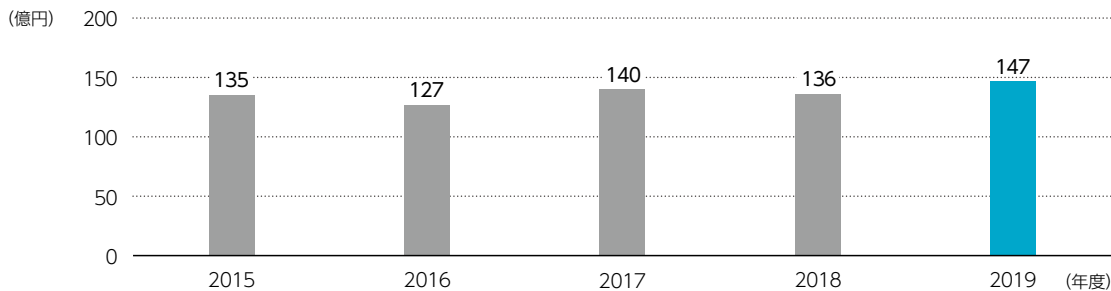
(注)「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しておりますが、上記の2015年度から2017年度の各連結会計年度につきましては、当該会計基準等の遡及適用前の数値を記載しております。

データ集

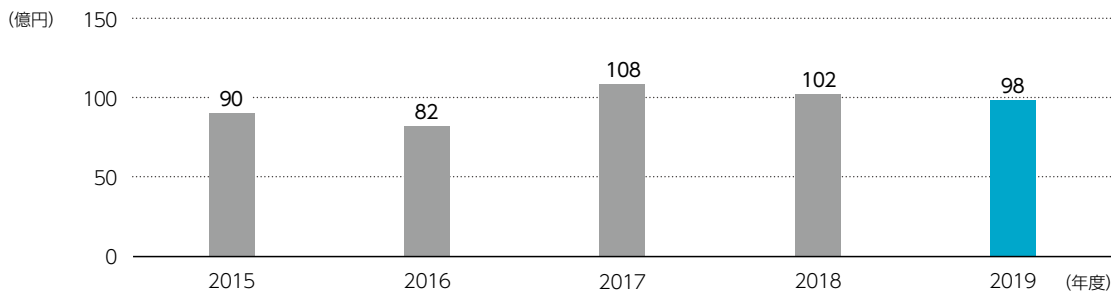
売上高



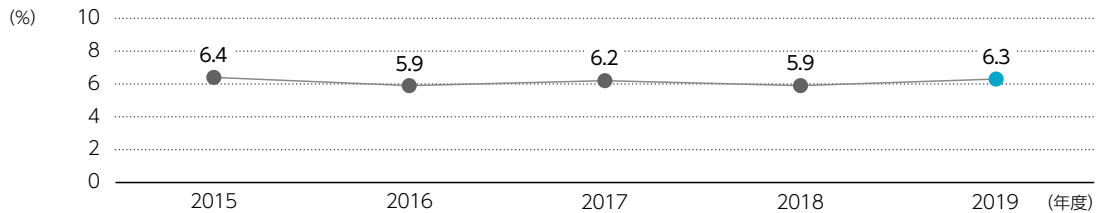
経常利益



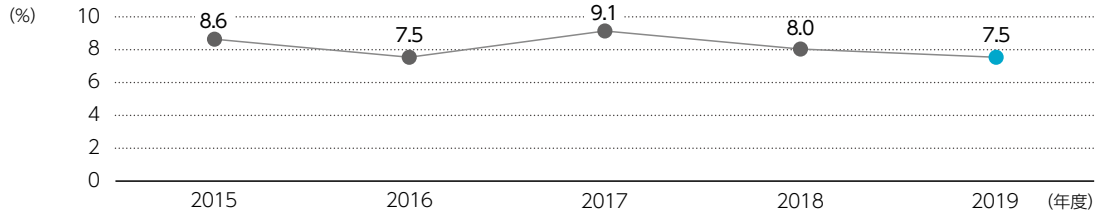
親会社株主に帰属する  
当期純利益



ROA  
(総資産経常利益率)

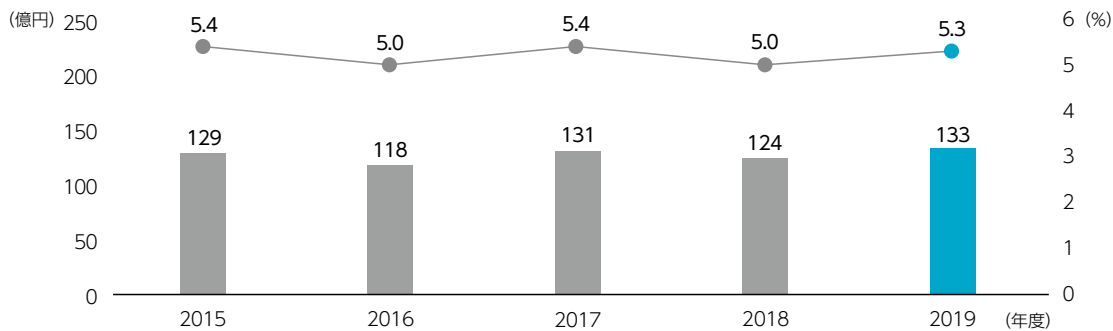


ROE  
(自己資本当期純利益率)



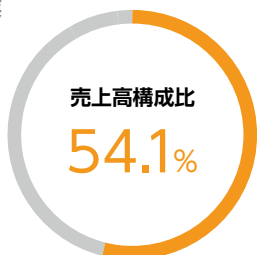
営業利益・  
売上高営業利益率

■ 営業利益  
● 売上高営業利益率

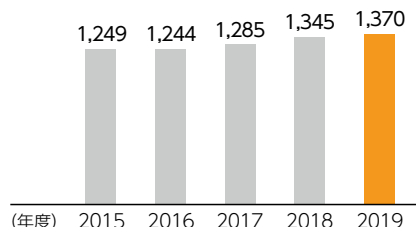


## セグメント情報

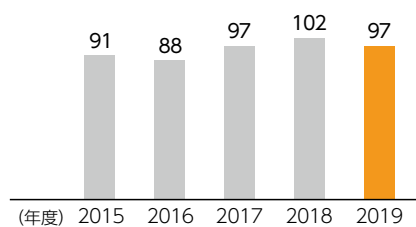
### オフィス環境事業



売上高(億円)



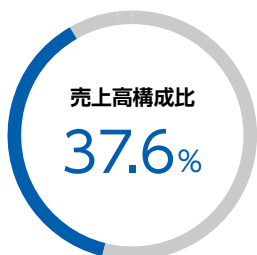
営業利益(億円)



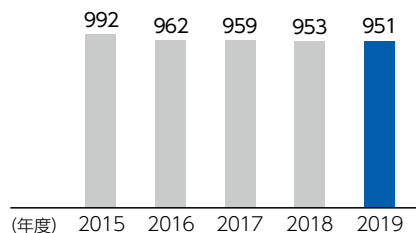
オフィス環境事業につきましては、大規模オフィスビルの安定的な供給を背景にオフィスの移転需要及びリニューアル需要は堅調に推移いたしました。また、働き方改革など新しいオフィスづくりへの動きは、業種・規模を問わず全国の幅広い企業層に広がっております。このような状況のもと、新しい働き方や環境を実践・検証する実験オフィス「ラボオフィス」での実証結果や自社での働き方改革における様々な施策の実践により得ら

れた知見を活かし、新しいオフィスづくりの提案を積極的に展開したことにより、売上高は、過去最高となりました。しかしながら、人件費の増加、物流コストの上昇等を吸収するには至らず、前連結会計年度に比べ、利益は減少いたしました。この結果、当セグメントの売上高は、137,074百万円(前期比1.9%増)、セグメント利益は、9,734百万円(前期比5.4%減)となりました。

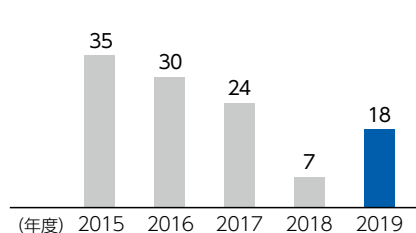
### 商環境事業



売上高(億円)



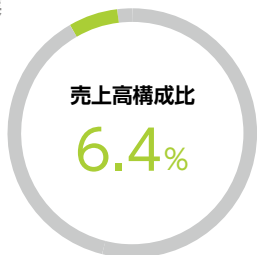
営業利益(億円)



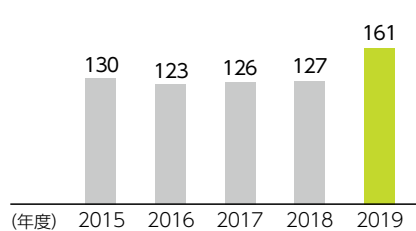
商環境事業につきましては、小売業を中心とした新規出店需要は減少傾向にあるものの、人手不足を背景とした省人・省力化関連の需要拡大と併せて、既存店舗の競争力向上を目指した改装投資は堅調に推移いたしました。このような状況のもと、店舗什器、カート機器、セキュリティ製品など総合力を活かしたトータル提案を強化するとともに、スライド棚やセルフ

レジに対応したカウンター等の製品を展開する等、省人・省力化の新しい需要の取り込みに努めたことにより、前連結会計年度に比べ、売上高は横ばい、利益は増加いたしました。この結果、当セグメントの売上高は、95,186百万円(前期比0.2%減)、セグメント利益は、1,816百万円(前期比129.2%増)となりました。

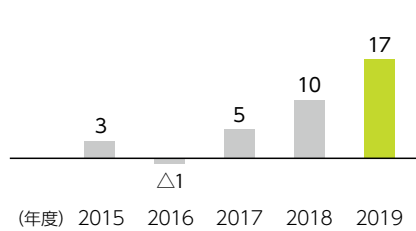
### 物流システム事業



売上高(億円)



営業利益(億円)



物流システム事業につきましては、人手不足を背景とした省人・省力化への要望は強く、また、卸・小売業のネット通販の拡大などにより、自動倉庫の需要は高水準に推移いたしました。このような状況のもと、優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な提案活動を展開するとともに、エンジニアリング体制の強化にも努め、売上高の拡大と安定的な利益

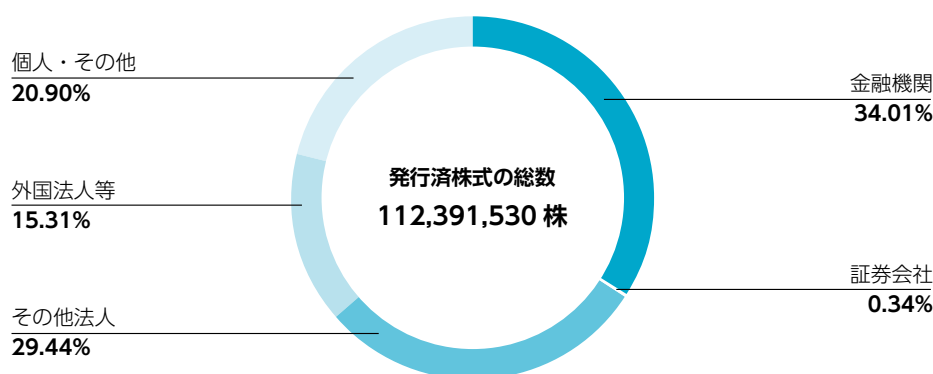
確保に向けて取り組んだことにより、前連結会計年度に比べ、売上高、利益ともに大幅に増加いたしました。この結果、当セグメントの売上高は、16,113百万円(前期比25.9%増)、セグメント利益は、1,770百万円(前期比64.1%増)となりました。

## 株主・株式情報 (2020年3月31日現在)

### 株式状況

発行可能株式総数	400,000,000株	単元株式数	100株
発行済株式の総数	112,391,530株	株主数	5,692名

### 所有者別株式分布状況

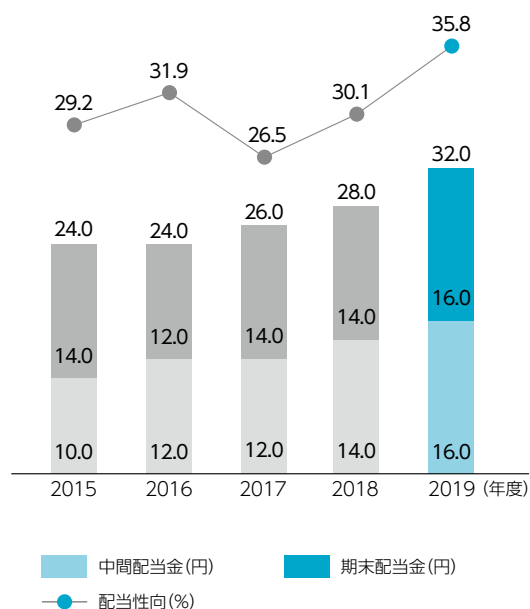


### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,349	9.38
三菱商事株式会社	6,300	5.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,223	5.64
オカムラグループ従業員持株会	5,967	5.41
明治安田生命保険相互会社	5,436	4.93
日本製鉄株式会社	5,313	4.82
株式会社三菱UFJ銀行	4,805	4.36
三井住友海上火災保険株式会社	4,236	3.84
オカムラ協会持株会	3,755	3.40
株式会社横浜銀行	2,853	2.59

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は、自己株式(2,067,619株)を控除して計算しております。

### 1株当たり配当金・連結配当性向の推移



## 2019年度の環境目標・活動実績と2020年度の環境目標

### オカムラ エコ物語 ～エコの種を育てて、お客様にエコの実を～

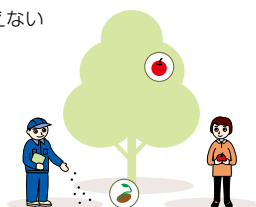
オカムラグループ環境方針は、オカムラグループが一丸となって環境活動を実践して「エコの種」を育て、環境活動を通じて生み出された製品やサービス、すなわち「エコの実」をお客様に提供する

ことで、持続可能な社会づくりに貢献する、という事業の展開のあり方を定めています。

#### オカムラの実践「エコの種」

「エコの種」とは、以下のような、お客様の目に見えない部分での努力のことです。

- ・素材の使用
- ・生産方法
- ・輸送や梱包



#### オカムラの提案「エコの実」

「エコの実」とは、お客様にとって次のようなメリットが多く詰まった製品・サービスのことです。(関連→P.62)

- ・使用するときによくのエネルギーを使わない製品・サービス
- ・ムダなスペースの少ない空間や高機能で居心地のよい空間づくり
- ・有害な化学物質を排除した製品
- ・高い転用性と耐久性で長期にわたり使える製品

#### ◆ 2019年度の環境目標・活動実績

##### オカムラの実践「エコの種」

	活動目的	2019年度目標	2019年度活動実績	評価
1. ものづくりでの環境保全活動	1-1.地球温暖化防止対策の推進 エネルギー生産性向上	省エネ法対応と管理体制の維持 ・エネルギー生産性向上 前年度比1%向上 生産系 [社内完成高あたり前年度比1.1%のエネルギー消費原単位低減] 省エネ計画実施によるエネルギー生産性の向上 オフィス系 [総人員あたりのエネルギー消費原単位維持] 人員に対するエネルギー使用量管理	省エネ法対応と管理体制の維持 ・エネルギー生産性 前年度比 1.6%向上 生産系 734,146GJ、原単位1.8%向上  オフィス系 58,406GJ、原単位6.0%向上	A
	物流における温暖化防止	特定荷主としてのCO <sub>2</sub> 排出削減管理 前年度比1%の原単位向上	物流効率向上によるCO <sub>2</sub> 削減 前年度比0.2%原単位向上	B
	1-2.省資源・廃棄物削減による資源循環の推進 施工廃棄物対策 生産・配送廃棄物対策	配送・施工系廃棄物のリサイクル率向上  マニフェストの電子化の対象範囲拡大  ゼロエミッションの継続と対象範囲の拡大	リサイクル率把握と実績評価実施  マニフェストの電子化拡大、マニュアル改定  ゼロエミッションの継続と対象範囲の拡大	A A A
	1-3.環境影響度の低減	社内完成高あたり 前年度比1%のPRTR排出・移動量原単位低減	社内完成高あたり前年度比3.2%のPRTR排出・移動量原単位低減	A
	1-4.製品開発における環境配慮型企画と設計推進	製品開発率の向上(GW・GW+開発製品管理) 製品環境情報管理の改善(システム検討) アセスメント管理の精度向上 (事業領域別チェック項目の見直し)	企画時適用率の目標数値化と実績把握 技術情報整備 グローバル規格対応製品の拡充 アセスメント改善項目洗い出しと改善案作成	A A A
環境に 2. 社会 活動 活動	2-1.社会貢献活動の推進 ACORN活動と学校教育へ 注力	ACORN活動の積極的推進  学校での環境教育実施による社会貢献活動	全社向け研修、推進担当者研修を実施  小学校出前授業による環境教育の実施	A A

##### オカムラの提案「エコの実」

	活動目的	2019年度目標	2019年度活動実績	評価
3. 顧客へ製品・ 空間の提案	3-1環境配慮製品の提供と 空間プランニング推進	環境配慮製品の販売比率向上(GW・GW+販売製品管理) オフィス・店舗の環境提案率の向上	事業領域別に細分化して販売比率を把握 環境負荷低減製品の提案を継続実施	A A
	3-2.森林資源の持続可能な利用 の推進	合法木材の確認精度向上	FSC 専門教育実施	A
	3-3.製品情報開示方法の改善	製品情報開示の運用改善(SDSの更新)	SDSの更新及び管理方法の改善実施	A

◆ 2020年度の環境目標

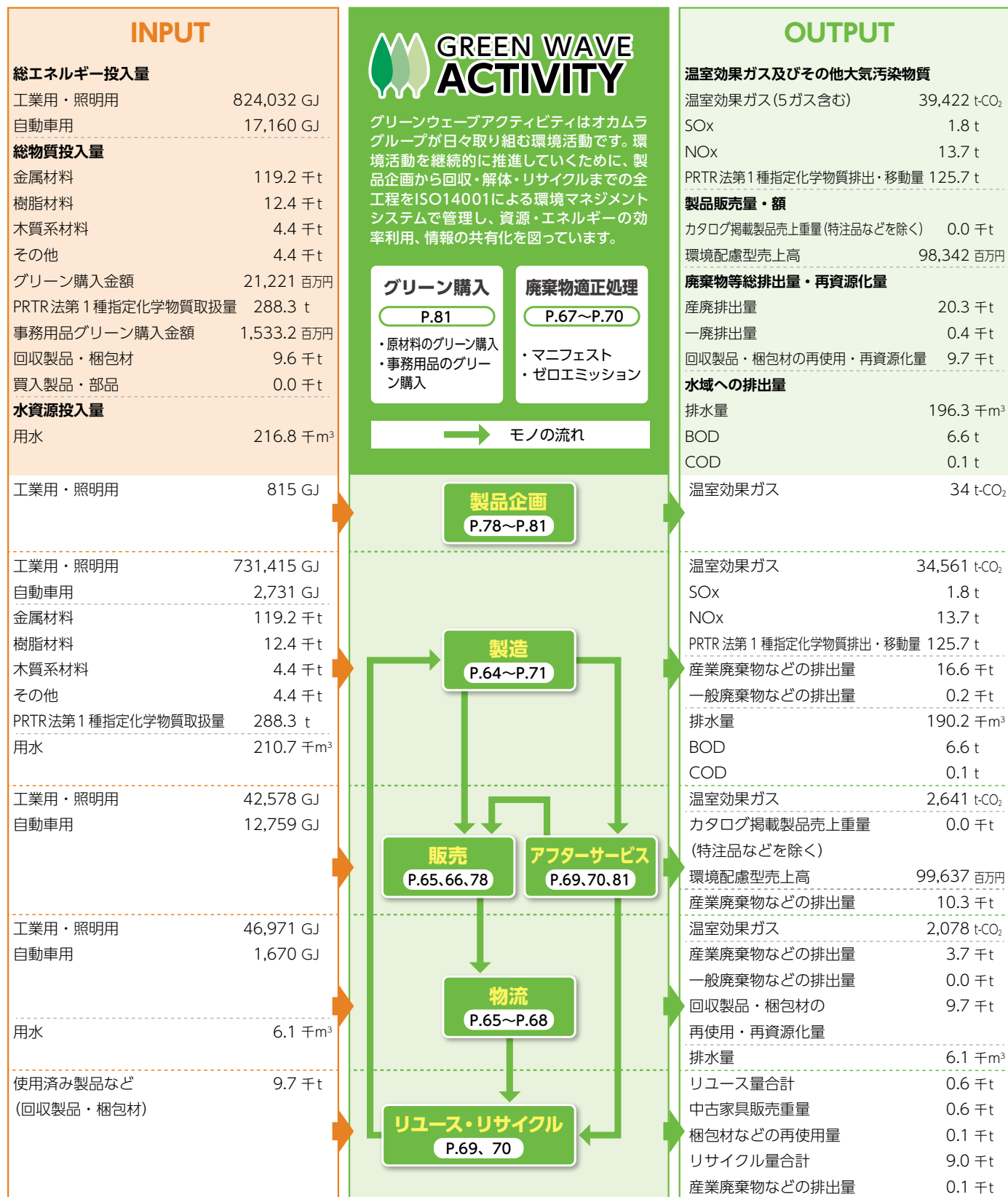
オカムラの実践「エコの種」

	活動目的	目標
1. ものづくりでの環境保全活動	1-1. 地球温暖化防止対策の推進 エネルギー生産性向上	省エネ法対応と管理体制の維持 ・エネルギー生産性向上 前年度比1%向上 生産系 [社内完成高あたり前年比1.1%のエネルギー消費原単位低減] 事業所エネルギー生産性の評価 オフィス系 [総人員あたりのエネルギー消費原単位維持] 人員に対するエネルギー使用量管理
	物流における温暖化防止	特定荷主としてのCO <sub>2</sub> 排出削減管理 前年度比1%の原単位向上
	1-2. 省資源・廃棄物削減による資源循環の推進 施工廃棄物対策 生産・配送廃棄物対策	配送・施工系廃棄物のリサイクル率向上 マニフェストの電子化の運用評価 ゼロエミッションの継続と対象範囲の拡大
	1-3. 環境影響度の低減	社内完成高あたり前年度比1%のPRTR排出・移動量原単位低減
	1-4. 製品開発における環境配慮型企画と設計推進	製品開発率の向上 (GW・GW+ 開発製品管理) 製品環境情報管理の改善 (運用評価) アセスメント管理の精度向上 (実施状況の再評価)
2. 環境活動に拡げる社会活動	2-1. 社会貢献活動の推進 ACORN活動と学校教育へ注力	ACORN活動の積極的推進 学校での環境教育実施による社会貢献活動

オカムラの提案「エコの実」




	活動目的	目標
3. 顧客へ製品・空間の提案	3-1 環境配慮製品の提供と空間プランニング推進	環境配慮製品の販売比率向上 (GW・GW+ 販売製品管理) オフィス・店舗の環境提案率の向上
	3-2. 森林資源の持続可能な利用の推進	合法木材使用製品の販売比率向上
	3-2. 製品情報開示方法の改善	製品環境情報開示の精度向上

## オカムラグループの事業活動にともなう環境影響のバランス (2019年度)





## 生産事業所・主要関係会社の環境管理データ (2019年度)

事業所/主要関係会社名	生産事業所		
	追浜事業所	高島事業所	つくば事業所
			
所在地	神奈川県横須賀市浦郷町5-2944-1	山形県東置賜郡高島町大字糠野目字北原五-2635	茨城県つくば市緑ヶ原1-2-2 テクノパーク豊里工業団地
土地 (m <sup>2</sup> )	56,352	114,459	99,457
建物 (延床面積) (m <sup>2</sup> )	52,343	27,278	41,376
緑化面積 (m <sup>2</sup> )	3,492	45,401	41,718
緑化率 (%)	6.2	39.7	41.9
主要生産品目	オフィス環境什器、流体変速機	オフィス環境什器(木質系)、商業施設用什器	オフィス環境什器、商業施設用什器

### 環境パフォーマンス

項目(単位)	実績	実績	実績
事業所/主要関係会社名	追浜事業所	高島事業所	つくば事業所
総エネルギー投入量 (GJ) *1	120,354	39,729	97,775
水			
水資源投入量 *2 (m <sup>3</sup> )	13,510	14,173	32,485
雨水投入量 (m <sup>3</sup> )	-	-	-
節水システムによる節水量 (m <sup>3</sup> )	1,689	-	7,362
総排水量 (m <sup>3</sup> )	11,020	14,173	32,485
大気			
温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> ) *1	5,392	1,902	4,473
オゾン層破壊物質排出量 (ODP-kg)	-	-	-
SOx 排出量 (t)	-	1.50	-
NOx 排出量 (t)	0.092	4.32	1.92
産業廃棄物			
再資源化量 (t)	3,578	268	1,341
最終処分量 (t)	0	0	0
PRTR法対象物質 *3			
取扱量 (kg)	93,869	146	18,801
大気への排出量 (kg)	17,706	114	6,222
トルエン (kg)	599	-	9
キシレン (kg)	8,711	-	1,110
その他 (kg)	8,397	114	5,104
公共用水域への排出量 (kg)	-	-	57
下水道への移動量 (kg)	49	-	-
廃棄物への移動量 (kg)	757	32	1,524
悪臭の発生状況			
キシレン (ppm)	-	-	<0.01
インプタノール (ppm)	-	-	<0.01
酢酸エチル (ppm)	-	-	<0.01
トルエン (ppm)	-	-	<0.01
スチレン (ppm)	-	-	<0.01
エチルベンゼン (ppm)	-	-	-
臭気指数	-	17	-
水域 *4			
BODの排出量 (t)	0.05	2.10	2.50
CODの排出量 (t)	0.06	-	-
窒素の排出量 (t)	0.05	-	-
リンの排出量 (t)	0.00	-	-

\*1 総エネルギー投入量、CO<sub>2</sub>排出量の算出に関しては「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」、環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer3.1」の係数に基づきます。サイアムオカムラステールの電力CO<sub>2</sub>換算は「電気事業連合会」の2000年度係数を使用しています。

\*2 水資源投入量は上水・工業用水・地下水・雨水の合計です。シーダーの水資源投入量は影響が小さいため、本レポートより除外しています。

\*3 PRTR法対象物質の土壌への排出および事業所における埋立処分はありませんでした。資材などにおける対象物質の含有量が0.1~1%などの報告の場合、1%として計算しています。サイアムオカムラステールはPRTR法対象外です。

\*4 水域への排出量において、富士・御殿場事業所、エヌエスコカムラ、山陽オカムラは公共水域への排水を含みます。

### 主な法規制対応



項目(単位)	規制値	実績値	規制値	実績値	規制値	実績値
事業所/主要関係会社名	追浜事業所		高島事業所		つくば事業所	
大気						
SOx 排出濃度 (m <sup>3</sup> N/h)	0.2	0.0	11.2	0.1	-	-
NOx 排出濃度 (ppm)	590.0	319.8	300.0	52.5	-	21.5
ばいじん排出濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	0.3	0.0	0.6	0.2	-	0.0
騒音						
大きさ(昼間/朝夕/夜間) (dB)	75/75/65	71/-/60	70/65/55	60/54/39	60/55/50	50/47/45
振動						
大きさ(昼間/夜間) (dB)	65/55	41/35	65/60	42/28	60/55	42/32

\* 規制値は法および自治体条例などによります。

\* 実績値は最大値です。

\* - : 実績値なしまたは規制対象外を示します。

データ集

事業所/主要関係会社名	生産事業所		
	富士事業所	中井工場	御殿場事業所
			
所在地	静岡県御殿場市大坂102-1	神奈川県足柄上郡中井町境390	静岡県御殿場市柴怒田キタ744
土地(m <sup>2</sup> )	85,763	53,890	87,028
建物(延床面積)(m <sup>2</sup> )	56,091	35,388	33,012
緑化面積(m <sup>2</sup> )	14,837	20,128	34,360
緑化率(%)	17.3	37.4	39.5
主要生産品目	店舗用陳列機器等	店舗用陳列機器	冷凍冷蔵ショーケース

環境パフォーマンス

項目(単位)	実績	実績	実績	
事業所/主要関係会社名	富士事業所	中井工場	御殿場事業所	
総エネルギー投入量(GJ) *1	167,982	48,820	74,127	
水	水資源投入量 *2 (m <sup>3</sup> )	87,587	3,254	11,215
	雨水投入量(m <sup>3</sup> )	-	1,610	-
	節水システムによる節水量(m <sup>3</sup> )	-	13,977	-
	総排水量(m <sup>3</sup> )	87,587	589	7,810
大気	温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> ) *1	7,735	2,229	3,419
	オゾン層破壊物質排出量(ODP-kg)	-	-	-
	SOx排出量(t)	-	-	-
	NOx排出量(t)	1.09	0.03	0.44
産業廃棄物	再資源化量(t)	2,813	2,256	2,366
	最終処分量(t)	0	0	0
PRTR法対象物質 *3	取扱量(kg)	80,306	151	77,410
	大気への排出量(kg)	72,401	3	5,586
	トルエン(kg)	24,291	-	1,163
	キシレン(kg)	18,526	-	1,789
	その他(kg)	29,584	3	2,634
	公共用水域への排出量(kg)	1,064	-	-
	下水道への移動量(kg)	-	-	-
	廃棄物への移動量(kg)	3,980	144	617
悪臭の発生状況	キシレン(ppm)	-	-	-
	インプタノール(ppm)	-	-	-
	酢酸エチル(ppm)	-	-	-
	トルエン(ppm)	-	-	-
	スチレン(ppm)	-	-	-
	エチルベンゼン(ppm)	-	-	-
水域 *4	臭気指数	10未満	10	10
	BODの排出量(t)	0.69	0.00	0.05
	CODの排出量(t)	-	-	0.01
	窒素の排出量(t)	0.35	-	0.01
	リンの排出量(t)	0.32	-	-

\*1 総エネルギー投入量、CO<sub>2</sub>排出量の算出に関しては「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」、環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer3.1」の係数に基づきます。サイアムオカムラステールの電力CO<sub>2</sub>換算は「電気事業連合会」の2000年度係数を使用しています。

\*2 水資源投入量は上水・工業用水・地下水・雨水の合計です。シーダーの水資源投入量は影響が小さいため、本レポートより除外しています。

\*3 PRTR法対象物質の土壌への排出および事業所における埋立処分はありませんでした。資材などにおける対象物質の含有量が0.1~1%などの報告の場合、1%として計算しています。サイアムオカムラステールはPRTR法対象外です。

\*4 水域への排出量において、富士・御殿場事業所、エヌエスコカムラ、山陽オカムラは公共水域への排水を含みます。

主な法規制対応

項目(単位)	規制値	実績値	規制値	実績値	規制値	実績値
事業所/主要関係会社名	富士事業所		中井工場		御殿場事業所	
大気	SOx排出濃度(m <sup>3</sup> N/h)	-	-	-	15.6	-
	NOx排出濃度(ppm)	240.0	3.0	230.0	10.0	40.0
	ばいじん排出濃度(g/m <sup>3</sup> N)	0.3	0.0	0.2	0.0	-
騒音	大きさ(昼間/朝夕/夜間)(dB)	65/70/-	58/60/-	75/75/65	50/50/48	55以下/50以下/45以下
振動	大きさ(昼間/夜間)(dB)	70/-	50/-	70/65	44/44	65以下/55以下

\* 規制値は法および自治体条例などによります。

\* 実績値は最大値です。

\* - : 実績値なしまたは規制対象外を示します。

データ集

事業所/主要関係会社名	関係会社		
	関西オカムラ	エヌエスコカムラ	山陽オカムラ
			
所在地	大阪府東大阪市稲田上町2-8-63	岩手県釜石市鈴子町23番15号	岡山県高梁市間之町1
土地(m <sup>2</sup> )	23,853	22,048	36,098
建物(延床面積)(m <sup>2</sup> )	30,731	12,604	28,749
緑化面積(m <sup>2</sup> )	2,210	3,308	6,471
緑化率(%)	9.3	15.0	17.9
主要生産品目	オフィス環境什器	物品管理棚、オフィス環境什器	オフィス環境什器、店舗用陳列機器

環境パフォーマンス

項目(単位)	実績	実績	実績
事業所/主要関係会社名	関西オカムラ	エヌエスコカムラ	山陽オカムラ
総エネルギー投入量(GJ) *1	86,954	57,751	38,347
水			
水資源投入量 *2 (m <sup>3</sup> )	21,699	6,459	20,309
雨水投入量(m <sup>3</sup> )	-	-	-
節水システムによる節水量(m <sup>3</sup> )	-	-	7,804
総排水量(m <sup>3</sup> )	20,571	3,663	12,300
大気			
温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> ) *1	3,633	3,063	2,483
オゾン層破壊物質排出量(ODP-kg)	-	-	-
SOx排出量(t)	-	0.35	-
NOx排出量(t)	0.70	4.01	1.11
産業廃棄物			
再資源化量(t)	1,990	1,138	855
最終処分量(t)	0	0	0
PRTR法対象物質 *3			
取扱量(kg)	342	958	16,319
大気への排出量(kg)	216	27	11,572
トルエン(kg)	5	27	-
キシレン(kg)	2	-	4,259
その他(kg)	209	-	7,314
公共用水域への排出量(kg)	-	-	-
下水道への移動量(kg)	127	-	143
廃棄物への移動量(kg)	-	918	2,433
悪臭の発生状況			
キシレン(ppm)	-	-	-
インプタノール(ppm)	-	-	-
酢酸エチル(ppm)	-	-	-
トルエン(ppm)	-	-	-
スチレン(ppm)	-	-	-
エチルベンゼン(ppm)	-	-	-
臭気指数	-	-	-
水域 *4			
BODの排出量(t)	1.04	-	0.12
CODの排出量(t)	-	-	-
窒素の排出量(t)	-	-	0.35
リンの排出量(t)	-	-	0.71

\*1 総エネルギー投入量、CO<sub>2</sub>排出量の算出に関しては「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」、環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer3.1」の係数に基づきます。サイアムオカムラスチールの電力CO<sub>2</sub>換算は「電気事業連合会」の2000年度係数を使用しています。  
 \*2 水資源投入量は上水・工業用水・地下水・雨水の合計です。シーダーの水資源投入量は影響が小さいため、本レポートより除外しています。  
 \*3 PRTR法対象物質の土壌への排出および事業所における埋立処分はありませんでした。資材などにおける対象物質の含有量が0.1~1%などの報告の場合、1%として計算しています。サイアムオカムラスチールはPRTR法対象外です。  
 \*4 水域への排出量において、富士・御殿場事業所、エヌエスコカムラ、山陽オカムラは公共水域への排水を含みます。

主な法規制対応

項目(単位)	規制値	実績値	規制値	実績値	規制値	実績値
事業所/主要関係会社名	関西オカムラ		エヌエスコカムラ		山陽オカムラ	
大気						
SOx排出濃度(m <sup>3</sup> N/h)	-	-	9.3	0.0	13.8	-
NOx排出濃度(ppm)	150.0	45.0	176.7	55.3	245.0	24.3
ばいじん排出濃度(g/m <sup>3</sup> N)	0.1	0.0	0.4	0.0	0.5	0.0
騒音						
大きさ(昼間/朝夕/夜間)(dB)	70/65/60	-	70/65/60	54/54/51	55/45/40	54/-/-
振動						
大きさ(昼間/夜間)(dB)	70/65	-	-	-	55/50	45/-

\* 規制値は法および自治体条例などによります。  
 \* 実績値は最大値です。  
 \* - : 実績値なしまたは規制対象外を示します。

事業所/主要関係会社名	関係会社		
	シーダー*	サイアムオカムラスチール	オカムラ物流*
			
所在地	神奈川県横浜市鶴見区末広町2-2-17	51-5 Poochao RD, Bangyapark Bangkok 10130 Thailand	神奈川県横浜市鶴見区末広町2-4-3
土地 (m <sup>2</sup> )	11,411	11,108	43,969
建物 (延床面積) (m <sup>2</sup> )	4,135	15,339	77,254
緑化面積 (m <sup>2</sup> )	-	181	6,644
緑化率 (%)	-	1.6	15.1
主要生産品目	搬送コンベヤシステム	オフィス環境什器、商業施設用什器	輸送、保管、荷役、流通、加工、施工、内装工事

\*吸収合併により株式会社オカムラに統合 (2020年7月1日)

環境パフォーマンス

項目 (単位)	実績	実績	実績
事業所/主要関係会社名	シーダー	サイアムオカムラスチール	オカムラ物流
総エネルギー投入量 (GJ) *1	2,306	43,876	48,641
水			
水資源投入量 *2 (m <sup>3</sup> )	-	23,854	6,064
雨水投入量 (m <sup>3</sup> )	-	-	-
節水システムによる節水量 (m <sup>3</sup> )	-	-	-
総排水量 (m <sup>3</sup> )	-	23,854	6,064
大気			
温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> ) *1	99	1,876	2,076 *5
オゾン層破壊物質排出量 (ODP-kg)	-	-	-
SOx 排出量 (t)	-	-	-
NOx 排出量 (t)	-	-	-
産業廃棄物			
再資源化量 (t)	13	-	3,646
最終処分量 (t)	0	596	26
PRTR法対象物質 *3			
取扱量 (kg)	-	-	-
大気への排出量 (kg)	-	-	-
トルエン (kg)	-	-	-
キシレン (kg)	-	-	-
その他 (kg)	-	-	-
公共用水域への排出量 (kg)	-	-	-
下水道への移動量 (kg)	-	-	-
廃棄物への移動量 (kg)	-	-	-
悪臭の発生状況			
キシレン (ppm)	-	0.2	-
イソブタノール (ppm)	-	-	-
酢酸エチル (ppm)	-	-	-
トルエン (ppm)	-	0.0	-
スチレン (ppm)	-	-	-
エチルベンゼン (ppm)	-	-	-
臭気指数	-	-	-
水域 *4			
BODの排出量 (t)	-	0.30	-
CODの排出量 (t)	-	2.40	-
窒素の排出量 (t)	-	-	-
リンの排出量 (t)	-	-	-

\*1 総エネルギー投入量、CO<sub>2</sub>排出量の算出に関しては「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」、環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer3.1」の係数に基づきます。サイアムオカムラスチールの電力CO<sub>2</sub>換算は「電気事業連合会」の2000年度係数を使用しています。

\*2 水資源投入量は上水・工業用水・地下水・雨水の合計です。シーダーの水資源投入量は影響が小さいため、本レポートより除外しています。

\*3 PRTR法対象物質の土壌への排出および事業所における埋立処分はありませんでした。資材などにおける対象物質の含有量が0.1~1%などの報告の場合、1%として計算しています。サイアムオカムラスチールはPRTR法対象外です。

\*4 水域への排出量において、富士・御殿場事業所、エヌエスコカムラ、山陽オカムラは公共水域への排水を含みます。

\*5 オカムラ物流の輸送における温室効果ガス排出量については、P.65をご参照ください。

主な法規制対応

事業所/主要関係会社名	項目 (単位)	規制値		実績値		規制値		実績値	
		シーダー	シーダー	サイアムオカムラスチール	サイアムオカムラスチール	オカムラ物流	オカムラ物流		
大気	SOx 排出濃度 (m <sup>3</sup> N/h)	-	-	60.0	0.1	-	-		
	NOx 排出濃度 (ppm)	-	-	200.0	42.7	-	-		
	ばいじん排出濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	-	-	0.4	0.0	-	-		
騒音	大きさ (昼間/朝夕/夜間) (dB)	-	-	85/84/70	83/82/65	-	-		
振動	大きさ (昼間/夜間) (dB)	-	-	-	-	-	-		

\* 規制値は法および自治体条例などによります。

\* 実績値は最大値です。

\* -: 実績値なしまたは規制対象外を示します。

\* サイアムオカムラスチールのSOx排出濃度の規制値および実績値はppmで表しています。